

ユニオンファンド 月次レポート

第 189 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2024年8月6日作成

MONTHLY TOPIC

久々の大変動。でも怖がる必要は全くありません

痛い思いを生かす機会に

日本株が大幅に下げ、円高によって外国株の円評価額も大きく目減りしました。怖い思いをしている方、がっかりしている方などいろいろいらっしゃると思います。

「非常に怖い、深く後悔している」という方は、もしかしたら投資額が大きすぎたのかもしれませんが。よく言われるように、まずは余裕金の範囲内での投資を心掛けることが大事です。今回程度の下げは今後も何度か起こる可能性があります。この下落を今後の資産づくりのための良い経験にいただければと願っています。

「下落率が大きくてショックを受けている」という方は、今の資産額が半年前あるいは1~2年前より減っているかどうか確かめてみてください。この大幅安でも、今の方がまだ多いということはありませんか？「増えた増えた」とその頃喜んでいたら、今がっかりすることはないはず。元に戻っただけなのです。そして、快調に増える時がきっとまた来るはず。なので今は続けるのみです。

今回の急変のきっかけの一つは、米国の景気後退懸念だと言われていますが、実際に景気後退に陥ったとしても、それで世界が終わるわけではありません。あのリーマンショックでも、その前のITバブル崩壊でも、1930年代の大恐慌でさえも、今となってみれば長い上昇過程での一コマでしかありませんでした。今は別の新たな一コマの最中、くらいに思っていたいだけでよいでしょう。

自分に合った方法でとにかく続けることが大切

「さあようやくチャンス到来だ」と買い増しを考えている方は、一発勝負をかけてみるのも一興ではありますが、荒れ模様が少しの間継続の可能性もありますから、時間を分散しての買い増しも選択肢に入れてみてはいかがでしょうか。調子に乗って足元をすくわれることはままあります（私も経験者です）。下落に要した1か月弱程度で元の水準に戻ることは、皆無とは言いませんが稀であり、いくらでも買い増しの機会はあると思います。焦る必要はありません。「つみたて投資はとても良い方法だが、どうにも退屈でつまらない」とおっしゃる相場師みたいに上手なお客は、お勧めはしませんが、荒れた相場に思う存分挑んでみるのもよいかもしれません。

投資の仕方はまさに十人十色、千差万別です。上がる一方の後で突然急落する、そんなこともあるという貴重な経験をされた皆さんは、自分の怖がり具合やウキウキ度を見つめ直して、どうかご自身に合った投資方法を見つけていただければと思います。大事なのは相場予想ではなく、自分に合った方法でとにかく続けることです。

久保田 徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2024年7月末現在)

基準価額

38,494 円

純資産総額

138 億 67 百万円

期間別騰落率(%)

1 ヶ月	-3.12%
1 年	11.58%
3 年	27.84%
5 年	61.98%
10 年	95.61%
設定来	284.94%

複利年率(%)

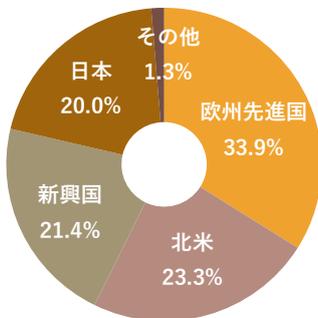
8.91%

* 騰落率は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

* 「複利年率」は、設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。

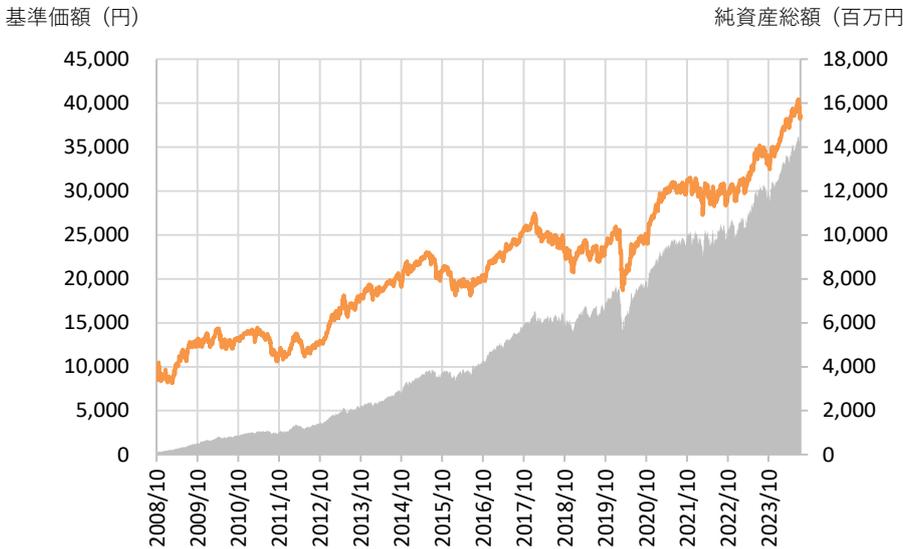
* 設定来、分配の実績はありません。

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2024年6月末現在)

基準価額と純資産総額の推移 (設定来、分配の実績はありません。)



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	4.8%	-2.6%
スパークス F	日本	12.2%	-0.8%
キャピタル F	欧米	19.7%	-3.9%
ハリス F	欧米	19.4%	-0.6%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	12.6%	-6.7%
コムジェスト・エマージング F	新興国	17.9%	-5.8%
現金等	-	13.3%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2024年7月の市場動向と運用状況

投資環境

7月の世界の株式市場は、前半は総じて好調な上昇が続いたものの後半になって反落し、欧米と新興国は現地通貨ベースでほぼ前月末水準となり、日本株は後半の下落が大きかったために若干のマイナスで終わりました。この間、円高が進んだことから、円換算した外国株の下落は全般に4%前後と、日本株の下げよりも大きくなりました。

前半好調だったのは、景気は底堅く企業業績も好調が続くとの見方が優勢だったことに加え、世界的なインフレ鈍化を受けて金融緩和が進むと見られたことが背景です。ただ、後半は、景気減速が想定以上に進んで景気後退に陥るのではないかと不安が急速に広がり、株価を押し下げました。

為替市場で円高に転換したのは、米国の利下げが早そうだと見られるようになった一方で、日本の政策金利はしばらく引き上げ方向にあるとの観測から、日米金利差の縮小が予想されたためです。日米の政治家から円安は行き過ぎとの発言が相次いだことや、先物市場で円売りポジションが膨らんでいたことも円急騰の一因と見られます。

運用の状況

ユニオンファンドの基準価額は下落しました。多めに組み入れている日本株の下落率が外国株より小さかったことや、相対的に底堅かった割安株を多く組み入れているハリスFの健闘などにより、市場全体の下落率より小幅な値下がりにとどまりました。

売買は見送りました。月末の組入比率は86.7%と、前月から低下しました。

今後の見通し

株価下落の背景とされている景気後退が本当にあるかどうか、まだ何も決まってはいません。景気後退の可能性が高まれば、米国の金融当局は9月に開催予定のFOMC（連邦公開市場委員会）を前に緊急利下げに踏み切るなど、金融緩和を一気に進める可能性が増すでしょう。金融市場で資金のやり取りに支障が生じるほどになれば、昨年3月の銀行危機の時と同様、大量の資金供給を行って信用危機を回避しようとすることも考えられます。インフレ率は目標に近いところまで既に低下しており、金融緩和を進めやすくなっています。

日経平均株価の8月5日の下落率は12.4%で、米国のブラックマンデーの翌日にあたる1987年10月20日の14.9%に次ぐ歴代2位でした。また、7月11日の史上最高値からは25.5%の下落です。かなり稀なこのような急落は、短期投資家の株式保有ポジションが強制的なものも含め一気に解消される時などによく起こります。下落は行き過ぎの可能性が大きく、いずれ株価は落ち着くと予想しています。

ある程度下落リスクが高まっていると考えていましたので、ユニオンファンドの運用にあたっては、やや慎重な姿勢を続けてきました。結果的に上昇相場に乗り切れなかった面があり、そこは反省点と思っておりますが、下落局面にあって余裕資金は潤沢にあります。これだけの下落になりますと、当面は荒れた展開になる可能性もありそうですから「徐々に、丹念に」ではありますが、割安度が増した市場を中心に買い増しを行う方針です。

運用責任者 久保田徹郎

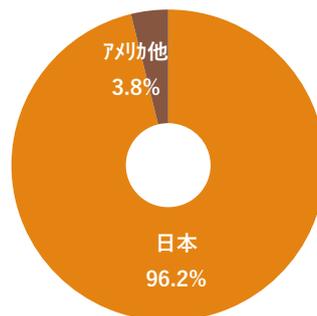
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



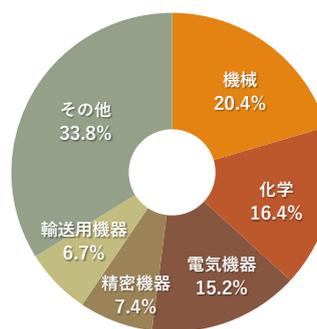
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 信越化学工業	5.0%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
2 ディスコ	4.4%	日本	機械	半導体等の切削・研磨装置
3 テルモ	3.2%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
4 ダイキン工業	3.0%	日本	機械	エアコン世界大手
5 ブリヂストン	2.8%	日本	ゴム製品	タイヤ世界大手
6 トヨタ自動車	2.7%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
7 INPEX	2.7%	日本	鉱業	石油・天然ガス開発
8 デクセリアルズ	2.5%	日本	化学	電子部品、接合材料、光学材料
9 三菱重工業	2.4%	日本	機械	大手総合重機
10 日立製作所	2.3%	日本	電気機器	総合電機世界大手
上位10銘柄	30.9%		現金等	12.1%

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2024年7月末現在 >

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



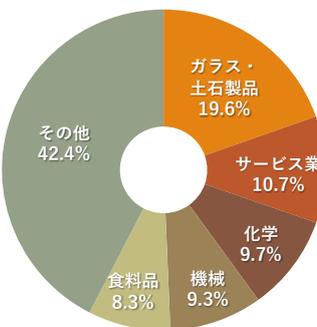
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
ライフドリンク カンパニー		日本	食料品	水、お茶、炭酸飲料
メック		日本	化学	電子基板用薬品
東洋炭素		日本	ガラス・土石製品	特殊黒鉛製品 (等方性黒鉛)
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、ステーラー
山洋電気		日本	電気機器	冷却ファン・サーボモーター等
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
京成電鉄		日本	陸運業	東京・千葉方面の大手私鉄
現金等	5.4%			

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2024年6月末現在 >

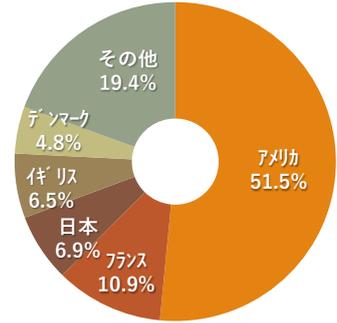
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



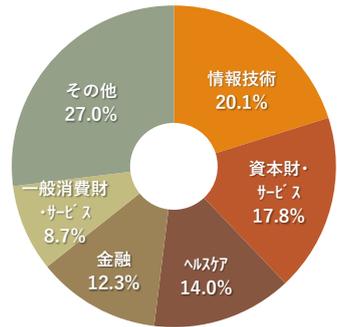
国別構成比



組入銘柄トップ10

順位	組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1	Novo Nordisk	3.3%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
2	Broadcom	3.1%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
3	Alphabet	2.6%	アメリカ	コミュニケーション・サービス	グーグルの持株会社
4	Microsoft	2.5%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
5	AstraZeneca	2.0%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
6	Apple	2.0%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
7	ASML	1.9%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
8	Safran	1.8%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
9	TotalEnergies	1.6%	フランス	エネルギー	国際巨大石油資本の一角
10	TSMC	1.3%	台湾	情報技術	半導体メーカー
上位10銘柄		22.1%		現金等	5.1%

業種別構成比



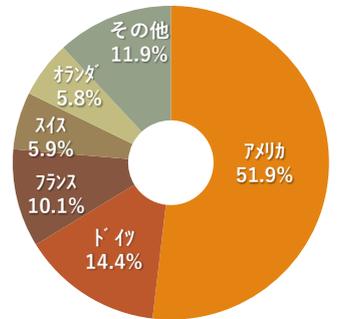
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年6月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリューストックファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



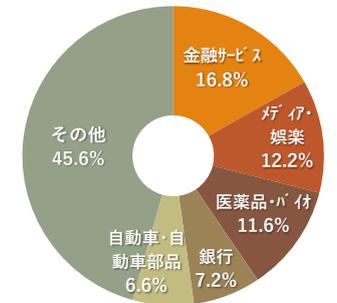
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

順位	組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1	ALPHABET	4.4%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
2	BAYER	3.7%	ドイツ	医薬品・バイ	大手化学医薬品メーカー
3	FISERV	3.7%	アメリカ	金融サービス	金融機関向け情報処理サービス
4	IQVIA	3.5%	アメリカ	医薬品・バイ	薬品会社向け臨床研究・試験等
5	BANK OF AMERICA	3.5%	アメリカ	銀行	米国大手銀行
6	CHARTER COMMUNICATIONS	3.5%	アメリカ	メディア・娯楽	ケーブルテレビ、携帯電話
7	BNP PARIBAS	3.4%	フランス	銀行	フランス大手銀行
8	CNH INDUSTRIAL	3.4%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
9	MERCEDES-BENZ	3.3%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
10	KERING	3.2%	フランス	耐久消費財・アパレル	高級ファッション・ブランド 大手
上位10銘柄		35.7%		現金等	5.1%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の25産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年6月末現在>

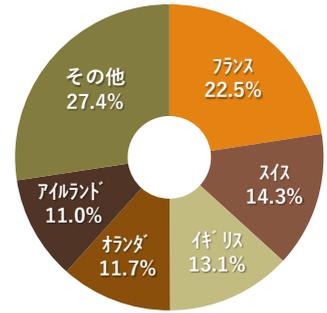
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



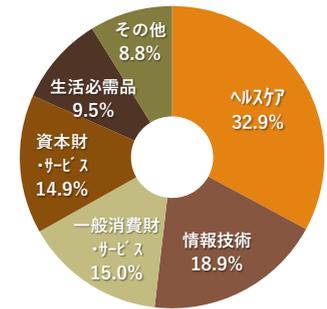
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 NOVO NORDISK	8.5%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
2 ASML	7.5%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
3 ESSILORLUXOTTICA	5.3%	フランス	ヘルスケア	光学製品
4 ACCENTURE	4.2%	アイルランド	情報技術	総合コンサルティング会社
5 ALCON	4.2%	スイス	ヘルスケア	眼科医療機器・薬剤
6 EXPERIAN	3.9%	イギリス	資本財・サービス	データ・分析ツールの提供
7 LVMH	3.7%	フランス	一般消費財・サービス	ファッション等高級ブランド世界大手
8 LINDE	3.6%	イギリス	素材	産業ガス世界大手
9 STRAUMANN HD	3.2%	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー
10 LONZA	3.1%	スイス	ヘルスケア	医薬品・化粧品
上位10銘柄	47.1%	現金等	2.3%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年7月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



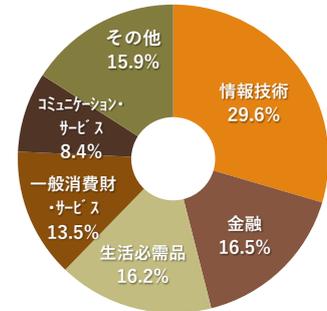
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	8.7%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 TENCENT	5.7%	中国	コミュニケーション・サービス	ソーシャルネットワーク等
3 SAMSUNG ELECTRONICS	5.1%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
4 MERCADOLIBRE	4.4%	アルゼンチン	一般消費財・サービス	中南米中心のEコマース企業
5 ASML	4.3%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
6 MARUTI SUZUKI	4.1%	インド	一般消費財・サービス	スズキの子会社
7 POWER GRID OF INDIA	4.1%	インド	公益事業	電力関連(送電網)
8 DELTA ELECTRONICS	3.9%	台湾	情報技術	電源、変圧器
9 FOMENTO ECONOMICO	3.6%	メキシコ	生活必需品	飲料、コンビニチェーン
10 Wal Mart de Mexico	3.5%	メキシコ	生活必需品	ウォルマートのメキシコ・中米部門
上位10銘柄	47.5%	現金等	1.3%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年7月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

定期定額購入の引落しができなかった場合について

引落先金融機関の口座が「残高不足」等で引落しができなかった場合、当月の定期定額購入は行ないませんが、翌月以降の引落しは通常通りのご指定金額で引落しを行ないます。なお、引落しできなかった分を翌月まとめて引落しすることはできません。

当月引落しできなかった分の購入をご希望される場合は、スポット購入による方法にてご購入ください。また、定期定額購入と同じタイミングでの購入をご希望される場合は、当月の引落日より 6 営業日後の日にスポット購入代金をお客様専用の「ファンド購入用振込先口座」へお振込みください。引落日等、各月の詳しい情報は弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

※ スポット購入の振込手数料はお客様のご負担となります。

スポット購入のお申込み受付時間について

スポット購入とは、弊社の「ファンド購入用振込先口座」へ、お客様からの都度のお振込みによりファンドを購入いただくものです。弊社へ口座開設されているすべてのお客様がご利用いただけます。購入金額は「1 万円以上 1 円単位」で、お申込日の翌々営業日の基準価額での購入となります。販売手数料はかかりません。

<当日のスポット購入のお申込みは、15 時までに弊社でご入金を確認できたものに限りです。>

弊社の「ファンド購入用振込先口座」を設けております「りそな銀行」は、振込みが 24 時間即日入金可能となっておりますが、弊社のスポット購入につきましては、当日 15 時までに“弊社でご入金の確認ができたもの”が当日のお申込み受付分となります。15 時以降に確認できたものは、翌営業日受付分となります。

- ※ 15 時直前などにお振込みされた場合に、当日分として確認できないことがありますのでご注意ください。
- ※ お振込みの際は、「振込依頼人」名を必ずお客様ご自身のお名前をお願いいたします。
- ※ 「ファンド購入用振込先口座」につきましては、口座開設いただいた際に弊社より簡易書留郵便にてお送りいたしました「総合取引口座【新規】お客さま控え」に記載しております。（お客さま控えは再発行できますので、ご希望される場合は弊社までご連絡ください。）

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます（基準価額は信託報酬控除後の価額です）。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券でかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が改正等された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。